# 学力向上フロンティアスクール用中間報告書様式(小学校用)

都道府県名 三 重 県

# 学校の概要(平成15年4月現在)

学校名	飯高町立宮前小学校								
学 年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特殊学級	計	教員数
学級数	1	1	1	1	1	1	1	7	
児童数	2 8	2 0	1 4	2 5	2 3	2 0	3	1 3 3	1 0

#### 研究の概要

#### 1.研究主題

平

成

15

年

度

ふれあおう!ひびきあおう!堂山っ子!

~ 伝え合う力が高まる国語科の授業をめざして~

#### 2.研究内容と方法

## (1) 実施学年・教科

・全学年・国語

学校として、当該教科に関する研究実績があるため

# (2) 年次ごとの計画

テーマ 「ふれあおう!ひびきあおう!堂山っ子!」

研究の見通し

(仮説)国語科の授業の中で、意見・感想や話し合いなどの場面を意識的に取り入れていくことにより、聴く力や、意図や目的に合わせて的確に、伝え合う力が高まれば、自分らしく表現する子・互いに認め合える子が育つであるう。

研究の内容・方法

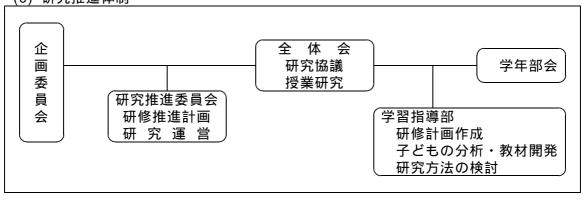
本校は、まず授業第一という考えから、国語科の伝え合う力の向上を通して、子どもたちの学習意欲を高めることで、「話す」「聞く」あるいは「書く」といった「確かな学力」の定着をめざして取り組んでいる。個々の児童の状況把握とより効果的な授業形態について研究をすすめている。また、それを補うものとして、「どうやまタイム」を設定し基礎学力の定着を図ったり、全校集会での「発表活動」等を行っている。

平 テーマ 「ふれあおう!ひびきあおう!堂山っ子!」

成 研究の内容・方法

16 来年度も基本的には本年度と同じスタイルで研究をすすめていく。本年度実施年 した習熟度調査の結果を参考にしながら、より子どもたちに「確かな学力」が身度 につくような方法を研究していきたい。また、算数科など他教科での研究も進めていきたいと考えている。

## (3) 研究推進体制



#### 平成15年度の研究の成果及び今後の課題

## 1.研究の成果

- ・互いに聴き合い、伝え合うことによって、自分の思いや考えがまわりの人から大切にされていることがわかり、自分の言動にも自信がつき、お互いに伝え合うことを通して理解し合うことの喜びを感じ、意欲を持って活動することができるようになってきた。
- ・音読や読書を毎日積み重ねてきたことにより、「読む力」が着実についてきた。

## 2.今後の課題

- ・学習の遅れがちな児童に個別指導をするための指導方法の開発と指導体制の確立。
- ・「確かな学力」の向上を中心とした学校全体計画の作成。(共通した指導体制の検討)
- ・国語科から他教科への広がり。
- ・評価方法の見直しとより適切な評価の工夫。
- ・教科担任制についての研究。

# 学力等把握のための学校としての取組

児童個々の学習における「基礎・基本の定着」の状況を把握するため、10月に学習 習熟度調査(CRT検査)を実施した。

# フロンティアスクールとしての研究成果の普及

平成15年度は、11月7日に本校において国語科の研究発表会を行い、飯高町内外51校、約200名の参加者に広めた。

~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~								
次の項目ごとに、該当	íす	る箇所をチェックする	ること。(複数チェック可)					
【新規校・継続校】	<b>&gt;</b>	15年度からの新規	校 14年度からの継続校					
【学校規模】		6 学級以下	▼ 7~12学級					
		13~18学級	19~24学級					
		2 5 学級以上						
【指導体制】	>	少人数指導	T . Tによる指導					
		一部教科 <u>担</u> 任制	との他					
【研究教科】	<b>&gt;</b>	国語 社会	算数					
		生活 音楽	図画工作 家庭					
		体育 その他	<u></u>					
【指導方法の工夫改善に関わる加配の有無】								